保001	項目名	災害医療対策費	新規事業
予算書項目	医療行政費	ページ	225
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画連携係 0857-30-8521		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1302 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 県東部圏域（1市4町）を所管する保健所として、災害時の医療救護活動に備え、救急医薬品等を備蓄するほか、本市との協定に基づき被災地で医療救護活動を行う関係団体の方の受傷等に備え、損害保険に加入する。また、被災者支援を担う職員の資質向上を図るため、平時から災害に備えた訓練・研修受講を促進する。		
目 医療費	【事業の目的及び効果】 救急医薬品等の備蓄、被災地で活動に従事される方の損害保険加入により、災害時の医療救護活動に備える。また、災害対応訓練及びDHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）関連研修への参加により職員の資質向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難訓練への参加 ・災害医療コーディネーター会議、透析医療関係者意見交換会の開催 ・災害時における保健所の役割に関する研修会等の開催		
前年度当初予算額	1,393	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
本年度要求額	387	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
総務部長段階査定額	385	【事業の内容】 ・DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難訓練への参加 ・災害医療コーディネーター会議、透析医療関係者意見交換会の開催 ・災害時における保健所の役割に関する研修会等の開催	
市長段階査定額	385	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
財源内訳		【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
地方債	0	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
その他	54	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
一般財源	331	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
計	385	【事業の実績】 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和6年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 災害医療コーディネーター会議：1回 鳥取空港消火救難訓練（13名）※医療救護関係訓練のみ実施 透析医療関係者意見交換会：1回	
備考欄			

保002	項目名	中山間地域の医療人材確保対策事業費	新規事業
予算書項目	中山間地域の医療人材確保対策事業費	ページ	225
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8522		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1302		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 中山間地域の医療提供体制を維持していくため、地域や医療機関の多様なニーズに対応することができる「総合診療医」を今後さらに確保していく必要がある。具体的には、県が地域医療に貢献する人材育成等を目的に鳥取大学医学部に寄附講座として設置している地域医療学講座において取り組むこととし、本寄附講座の体制拡充に対し、関係する町とともに支援し、総合診療医の育成・確保を図る。		
目 医療費	【事業の目的及び効果】 総合診療医の育成・確保対策を担う鳥取大学医学部地域医療学講座専任医師を配置し、臨床研修医のリクルート活動、専攻医の指導強化、関係病院と連携した研修等に取り組む。一人でも多くの総合診療医を育成し、中山間地域を担う公立病院・診療所への派遣を推進していくことにより、医療提供体制の維持を図ることを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○県【中山間地域の医療人材確保対策】総合診療医確保対策強化事業の一部負担 750千円（専任医師人件費・活動費12,000千円うち関係8市町で6,000千円を負担） ○東部圏域での医学生体験事業に係る支援 90千円		
前年度当初予算額	1,000	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
本年度要求額	840	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
総務部長段階査定額	840	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
市長段階査定額	840	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
財源内訳		【事業の実績】 令和6年度 750千円	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
地方債	0	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
その他	0	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
一般財源	840	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
計	840	【事業の実績】 令和6年度 750千円	
備考欄			

保003	項目名	夜間休日急患診療所運営委託費等	新規事業
予算書項目	夜間休日急患診療所運営委託費等	ページ	215
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 医事業事係 0857-30-8531		
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1302 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 夜間、休日の1次診療体制を整備する。		
目 保健衛生総務費	【事業の目的及び効果】 日々、夜間及び日曜、祝日等の休日に、急な診察を必要とする患者が診察を受けられるよう、急患診療所の運営を鳥取県東部医師会へ委託し、住民サービスの向上を図る。また1次救急患者の受入れ促進を図り、2次および3次救急体制の負担軽減を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 夜間、休日等における急患診療体制を整備する。 ・委託先：鳥取県東部医師会 ・診療科目：内科、小児科 ・診察時間：夜間…通年(365日) 午後7時から午後10時まで 休日…日曜日及び祝日並びに8月13日から8月15日、12月30日から翌年の1月3日 午前9時から正午及び午後2時から午後5時まで ・実施場所：東部医師会急患診療所 (鳥取市富安1丁目58番地1)		
前年度当初予算額	40,722	【事業の実績】 令和3年度実績 休日昼間 3,375人 夜間 4,086人 令和4年度実績 休日昼間 5,811人 夜間 7,129人 令和5年度実績 休日昼間 7,761人 夜間 9,317人	
本年度要求額	40,706	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	40,706	【事業の内容】(続き) ・実施場所：東部医師会急患診療所 (鳥取市富安1丁目58番地1)	
市長段階査定額	40,706	【事業の実績】(続き) 令和3年度実績 休日昼間 3,375人 夜間 4,086人 令和4年度実績 休日昼間 5,811人 夜間 7,129人 令和5年度実績 休日昼間 7,761人 夜間 9,317人	
区分	本年度予算額	【その他財源の内訳】	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	13,166	手数料	0
一般財源	27,540	財産収入	0
計	40,706	寄付金	0
		繰入金	13,166
		贈収	0
		その他	0
備考欄			

保004	項目名	自死対策強化事業費	新規事業
予算書項目	自死対策強化事業費	ページ	215
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 心の健康支援室 0857-22-5616		
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1301 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 地域における自死対策の強化は喫緊の課題となっている。国は都道府県に平成21年から5年間「地域自殺対策緊急強化基金」を造成。平成26年度からは「地域自殺対策強化交付金」として交付。これらを受け、本市でも各種事業を継続実施している。		
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 誰も自死に追い込まれることのない地域を目指し、相談支援、人材育成、普及啓発、地域ネットワークの強化等、地域における更なる自殺対策の強化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 心の健康・自死予防に関する普及啓発(パネル展示2回)、企業向けメンタルヘルス出前講座及び研修会、心の健康相談を実施。		
前年度当初予算額	595	【事業の実績】 令和4年度 決算額 488,779円 令和5年度 決算額 447,173円 令和6年度 決算額 537,088円(見込)	
本年度要求額	574	<令和4年度、5年度、6年度、下記事業を実施> ・ゲートキーパー養成研修、パネル展示・チラシ配布等による啓発 ・鳥取いのちの電話へパソコンリース補助 ・こころの体温計(Web上での簡易ストレス診断) ・自死予防研修会 ※令和5年度は「第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画」を一部見直し	
総務部長段階査定額	574	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	574	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	310	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	264	繰入金	0
計	574	贈収	0
		その他	0
備考欄			

保005	項目名	A類疾病予防接種費	新規事業																																								
予算書項目	感染症予防接種費	ページ	219																																								
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課																																								
会計名	事業の概要																																										
一般会計	【問合せ先】 予防接種推進係 0857-30-8640																																										
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1302																																										
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 予防接種法及び予防接種法施行令に基づき、A類疾病予防接種を実施する。																																										
目 予防費	【事業の目的及び効果】 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とする。																																										
(単位：千円)	【事業の内容】 予防接種法に基づき、安全かつ適正に予防接種を実施していく。 HPVワクチン接種については、積極的勧奨を差し控えていた期間に、接種機会を逃した世代の救済措置として、令和4年度からキャッチアップ接種を実施している。本制度は令和6年度が最終年度となる予定だったが、国は初回及び2回目接種をキャッチアップ接種期間に行った者に限り、接種期間を延長する経過措置を設けたため、令和7年度末まで継続して実施する。																																										
前年度当初予算額	590,018	【事業の実績】 ○主な定期予防接種実施件数																																									
本年度要求額	500,699	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[令和4年度]</td> <td>[令和5年度]</td> <td>[令和6年度(9月末)]</td> </tr> <tr> <td>ロタ</td> <td>2,841件</td> <td>2,499件</td> <td>1,140件</td> </tr> <tr> <td>五種混合</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,240件</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>4,929件</td> <td>4,816件</td> <td>869件</td> </tr> <tr> <td>MR1期</td> <td>1,231件</td> <td>1,214件</td> <td>499件</td> </tr> <tr> <td>MR2期</td> <td>1,387件</td> <td>1,311件</td> <td>833件</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>7,317件</td> <td>6,082件</td> <td>3,034件</td> </tr> <tr> <td>HPV(通常)</td> <td>1,179件</td> <td>1,093件</td> <td>658件</td> </tr> <tr> <td>HPV(キャッチアップ)</td> <td>1,322件</td> <td>1,633件</td> <td>1,869件</td> </tr> <tr> <td>風しん第5期</td> <td>281件</td> <td>95件</td> <td>55件</td> </tr> </table>			[令和4年度]	[令和5年度]	[令和6年度(9月末)]	ロタ	2,841件	2,499件	1,140件	五種混合	—	—	1,240件	四種混合	4,929件	4,816件	869件	MR1期	1,231件	1,214件	499件	MR2期	1,387件	1,311件	833件	日本脳炎	7,317件	6,082件	3,034件	HPV(通常)	1,179件	1,093件	658件	HPV(キャッチアップ)	1,322件	1,633件	1,869件	風しん第5期	281件	95件	55件
	[令和4年度]	[令和5年度]	[令和6年度(9月末)]																																								
ロタ	2,841件	2,499件	1,140件																																								
五種混合	—	—	1,240件																																								
四種混合	4,929件	4,816件	869件																																								
MR1期	1,231件	1,214件	499件																																								
MR2期	1,387件	1,311件	833件																																								
日本脳炎	7,317件	6,082件	3,034件																																								
HPV(通常)	1,179件	1,093件	658件																																								
HPV(キャッチアップ)	1,322件	1,633件	1,869件																																								
風しん第5期	281件	95件	55件																																								
総務部長段階査定額	451,407	○事業費																																									
市長段階査定額	451,407	令和4年度 454,351千円 令和5年度 447,313千円 令和6年度 590,575千円(見込)																																									
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																																									
国・県支出金	2,526																																										
地方債	0																																										
その他	32,000																																										
一般財源	416,881																																										
計	451,407																																										
備考欄																																											

保006	項目名	B類疾病予防接種費	新規事業	○
予算書項目	感染症予防接種費	ページ	219	所 属 名
年度	R7	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 予防接種推進係 0857-30-8640			
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1302			
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 定期接種として、高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌感染症の予防接種を実施しており、令和6年度に新型コロナが追加され、令和7年度からは帯状疱疹が追加となる。また、高齢者以外のインフルエンザについて、心身障がい者(児)及び小学6年生までの小児を対象に、接種費用助成を実施している。			
目 予防費	【事業の目的及び効果】 個人の発病またはその重症化を防止し、併せてそのまん延予防に資することを目的とし、接種を希望する市民に行う。接種費用の負担軽減を図り併せて接種体制を整えることで、市民の健康管理を支援する。			
(単位：千円)	【事業の内容】(対象者)			
前年度当初予算額	317,149	○インフルエンザ予防接種		
本年度要求額	598,886	①65歳以上の者		
総務部長段階査定額	500,501	②60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全者等		
市長段階査定額	500,501	③重度の心身障がい者及び重症心身障がい児		
区分	本年度予算額	④生後6か月以上から小学6年生までの小児		
国・県支出金	0	○高齢者肺炎球菌感染症予防接種		
地方債	0	65歳の者及び上記②		
その他	190,443	○新型コロナ予防接種		
一般財源	310,058	上記①及び②		
計	500,501	○帯状疱疹ワクチン予防接種《新規》		
備考欄	65歳の者及び60歳から65歳未満のヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がい者を有する者70、75、80、85、90、100歳以上の者(5年間の経過措置)及び101歳以上の者(R7に限る)			
		【事業の実績】		
		定期予防接種実施件数 [令和4年度] [令和5年度] [令和6年度(見込)]		
		高齢者インフルエンザ 36,597人 35,792人 36,600人		
		新型コロナ感染症 — — 23,657人		
		高齢者肺炎球菌 1,690人 1,876人 971人		
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
		※その他財源の諸収入は、新型コロナワクチン接種助成金		

保007	項目名	感染症対策推進事業費	新規事業
予算書項目	感染症予防費	ページ	219
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1302 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき、感染症発生に備えた危機管理体制の整備、感染症発生動向の調査・検査、感染症患者に対する適切な医療の提供等を行う必要がある。 新興・再興感染症のほか、近い将来発生するであろう新たな感染症への備えが必要となっている。		
目 予防費	【事業の目的及び効果】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を感知し適切な予防活動を実施する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 感染症予防事業 感染症発生時の危機管理体制の整備、感染症患者に対する適切な医療提供を図る。 ・感染症対策保健師による検査及び指導等（会計年度任用職員 通年1人配置） ・感染症診査協議会の開催 ・感染症患者の医療費公費負担 ・研修会の開催 ・訓練の実施、個人防護具備蓄品の整備（更新・補充） (2) 感染症発生動向調査事業 医療機関等と協力し、感染症発生状況の把握・調査を行う。 また、感染症発生時は感染源の調査や病原体の検査を行い、感染拡大防止等を図る。 ・鳥取県衛生環境研究所検査委託 ・病原体定点検体回収業務委託		
前年度当初予算額	11,759	【事業の実績】 令和4年度 1,043,601千円 ※新型コロナウイルス感染症行政検査実施業務等を含む。 令和5年度 302,108千円 令和6年度 34,802千円（見込）	
本年度要求額	9,479	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務費負担金	
総務部長段階査定額	8,848	【事業の内容】	
市長段階査定額	8,848	(1) 感染症予防事業	
区分	本年度予算額	感染症発生時の危機管理体制の整備、感染症患者に対する適切な医療提供を図る。	
国・県支出金	1,561	・感染症対策保健師による検査及び指導等（会計年度任用職員 通年1人配置）	
地方債	0	・感染症診査協議会の開催 ・感染症患者の医療費公費負担	
その他	206	・研修会の開催 ・訓練の実施、個人防護具備蓄品の整備（更新・補充）	
一般財源	7,081	(2) 感染症発生動向調査事業	
計	8,848	医療機関等と協力し、感染症発生状況の把握・調査を行う。	
備考欄		また、感染症発生時は感染源の調査や病原体の検査を行い、感染拡大防止等を図る。	
		・鳥取県衛生環境研究所検査委託 ・病原体定点検体回収業務委託	

保008	項目名	風しん対策特別促進事業費	新規事業
予算書項目	感染症予防費	ページ	219
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1302		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 妊娠初期の人が風しんに罹患すると、出生児が「先天性風しん症候群（CRS＝白内障、先天性心疾患、難聴等の先天異常）」になるおそれがある。CRSの発生を防ぐためには妊婦や妊娠を控えた女性の罹患予防のみならず、配偶者や家族等周囲にいる者の感染防止も重要で、免疫の低い者に対しては、予防接種の推進が必要である。 国は、平成24年～25年の全国的な流行を受け、平成26年度から妊娠を希望する女性及びその周囲の者を対象とした無料抗体価検査に対する国庫補助を実施している。 また令和7年度から、麻しんについても、妊娠を希望する女性及びその周囲の者を対象とした無料抗体価検査に対する国庫補助を実施する。		
目 予防費	【事業の目的及び効果】 風しんのまん延を防ぎ生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るため、また麻しんのまん延を防ぎ、妊娠期の流早産のリスクを無くすため、保健所及び委託医療機関において抗体価検査を実施する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・風しん及び麻しん抗体価検査（保健所検査、医療機関委託） ※昭和54年4月2日～昭和62年10月1日生まれの男性を対象とした風しん抗体価検査（対象拡大分）は令和6年度末までで終了		
前年度当初予算額	1,879	【事業の実績】 （風しん抗体価検査実施件数）〔令和4年度〕 〔令和5年度〕 〔令和6年度（見込）〕 保健所検査 12人 9人 9人 医療機関委託 151人 209人 150人 医療機関対象拡大分 10人 7人 10人	
本年度要求額	4,083	※その他財源の手数料は、衛生事業許可等手数料 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務費負担金	
総務部長段階査定額	2,463	【事業の内容】	
市長段階査定額	2,463	(1) 風しん及び麻しん抗体価検査（保健所検査、医療機関委託）	
区分	本年度予算額	※昭和54年4月2日～昭和62年10月1日生まれの男性を対象とした風しん抗体価検査（対象拡大分）は令和6年度末までで終了	
国・県支出金	1,226	【事業の実績】	
地方債	0	（風しん抗体価検査実施件数）〔令和4年度〕 〔令和5年度〕 〔令和6年度（見込）〕	
その他	203	保健所検査 12人 9人 9人	
一般財源	1,034	医療機関委託 151人 209人 150人	
計	2,463	医療機関対象拡大分 10人 7人 10人	
備考欄		※その他財源の手数料は、衛生事業許可等手数料 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務費負担金	

保009	項目名	施設管理費	新規事業
予算書項目	施設管理費	ページ	215
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】庶務係 0857-30-8583		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1301		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 市民の健康づくりの推進及び自主的な保健活動の振興に資するため、用瀬・佐治・気高・鹿野地域のそれぞれと、国府地域と一部鳥取地域の市民を対象に保健センターを設置している。		
目 保健衛生総務費	【事業の目的及び効果】 各保健センターの適切な維持管理をすることにより、保健事業のスムーズな運営を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 各保健センターの維持管理を行う。		
前年度当初予算額 131,548	【事業の実績】 令和4年度 61,897千円 令和5年度 69,310千円 令和6年度 127,742千円（見込）		
本年度要求額 66,506	※その他財源の使用料は、施設使用料 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、光熱水費等負担金		
総務部長段階査定額 61,394	その他財源の内訳		
市長段階査定額 61,394	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 159		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 3,000		
	諸収入 7,869		
	その他 0		
区分 本年度予算額			
財源内訳 国・県支出金 902			
地方債 1,200			
その他 11,028			
一般財源 48,264			
計 61,394			
備考欄			

保010	項目名	健康診査費	新規事業
予算書項目	健康増進事業費	ページ	215
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1301 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 健康増進法に基づく取組として、がん対策は国をあげて推進していくこととされている。特に働く世代のがん罹患は社会に与える影響が大きく、受診率向上のための取組推進、対策強化が必要となっている。		
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 がん検診、健康診査等の受診により健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 個別健診及び集団健診によるがん検診、健康診査等の実施。 期間：令和7年6月から令和8年2月末まで		
前年度当初予算額 444,641	【事業の実績】 ・69歳以下の受診率 ※国基準、子宮・乳は2年に1回の受診率 【胃】 【肺】 【大腸】 【子宮】 【乳】 令和4年度 35.5% 34.4% 37.1% 71.3% 61.1% 令和5年度 33.0% 32.5% 34.7% 70.1% 58.6% 令和6年度 33.4% 32.0% 34.0% 71.6% 56.8%（見込）		
本年度要求額 448,503	その他財源の内訳		
総務部長段階査定額 446,819	分担金 0		
市長段階査定額 446,819	負担金 52,784		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	諸収入 1		
	その他 0		
区分 本年度予算額			
財源内訳 国・県支出金 12,319			
地方債 0			
その他 52,785			
一般財源 381,715			
計 446,819			
備考欄	※その他財源の負担金は、後期高齢者健康診査負担金 ※その他財源の諸収入は、各種健診一部自己負担金		

保011	項目名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費	新規事業																				
予算書項目	健康増進事業費	ページ	215																				
年度	R7	所 属 名 健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 地域保健第二係 0857-30-8585																						
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1301 ●実施計画																						
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 糖尿病等の生活習慣病は自覚症状がなく進行し、現在の我が国における死亡や要介護状態となること等の主な原因の一つにもなっている。本市でも同様であり、その対策が急務である。第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）等に基づき、特定保健指導対象者以外の人の保健指導についても、より適切かつ効果的に保健指導を実施することが必要である。																						
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 健康増進法に基づき、健康教育、健康相談、訪問指導を実施し適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 生活習慣病予防や介護予防にかかる健康教育、健康相談、訪問指導の実施																						
前年度当初予算額	8,845	【事業の実績】																					
本年度要求額	9,352	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>健康教育</th> <th>健康相談</th> <th>訪問指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>11,343千円</td> <td>343回</td> <td>216回</td> <td>586人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>11,380千円</td> <td>386回</td> <td>259回</td> <td>555人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>8,845千円</td> <td>390回</td> <td>250回</td> <td>600人 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>			決算額	健康教育	健康相談	訪問指導	令和4年度	11,343千円	343回	216回	586人	令和5年度	11,380千円	386回	259回	555人	令和6年度	8,845千円	390回	250回	600人 (見込)
	決算額	健康教育	健康相談	訪問指導																			
令和4年度	11,343千円	343回	216回	586人																			
令和5年度	11,380千円	386回	259回	555人																			
令和6年度	8,845千円	390回	250回	600人 (見込)																			
総務部長段階査定額	9,175	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	其他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
其他	0																						
市長段階査定額	9,175	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>692</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,483</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,175</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	692	地方債	0	其他	0	一般財源	8,483	計	9,175								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	692																						
地方債	0																						
其他	0																						
一般財源	8,483																						
計	9,175																						
備考欄																							

保012	項目名	食育推進事業費	新規事業																				
予算書項目	食育活動等推進事業費	ページ	215																				
年度	R7	所 属 名 健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 食育推進係 0857-30-8582																						
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1301																						
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 平成9年度から食育推進員の養成講座を実施しており、講座修了生で組織される鳥取市食育推進委員会は、市の委託により地域における食生活改善地区活動事業を実施している。また、「第3次鳥取市食育推進計画」（令和3年度～7年度）に基づき、食育の実践を推進している。																						
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 地域における食生活の改善を積極的に推進していくことを目的に、食育推進員の養成と地区組織の育成を行い、市民の健康づくりの推進につなげる。また、食環境を重視した取組を推進することで、誰もが自然に健康になれるまち（食環境）づくりを行う。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 ・食育推進員養成講座の開催、地区伝達講習会の支援 ・地域の企業・スーパーマーケット等と協働による食環境整備事業の実施																						
前年度当初予算額	3,266	【事業の実績】																					
本年度要求額	2,791	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>養成講座 修了者数</th> <th>地区伝達講習会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3,328千円</td> <td>12人</td> <td>84回</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,428千円</td> <td>12人</td> <td>131回</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3,266千円</td> <td>21人</td> <td>220回 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>			決算額	養成講座 修了者数	地区伝達講習会	令和4年度	3,328千円	12人	84回	令和5年度	3,428千円	12人	131回	令和6年度	3,266千円	21人	220回 (見込)				
	決算額	養成講座 修了者数	地区伝達講習会																				
令和4年度	3,328千円	12人	84回																				
令和5年度	3,428千円	12人	131回																				
令和6年度	3,266千円	21人	220回 (見込)																				
総務部長段階査定額	2,774	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	其他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
其他	0																						
市長段階査定額	2,774	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,774</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,774</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	其他	0	一般財源	2,774	計	2,774								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
其他	0																						
一般財源	2,774																						
計	2,774																						
備考欄																							

保013	項目名	健康づくり計画策定費	新規事業
予算書項目	健康づくり計画策定費	ページ	215
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 地域保健第一係 0857-30-8581		
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1301		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 第4期鳥取市健康づくり計画は、健康増進法に基づく市町村健康増進計画として策定しており、令和3年度～7年度の5か年計画である。今期計画の評価や健康課題を分析し、次期計画策定に向けて取り組むものである。		
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 国の示す健康日本21の「健康寿命の延伸と生活の質の向上」を柱に、「市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送れること」を基本理念とし、目標と行動計画を示し、市民の健康づくりの推進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 令和7年度は、アンケート調査による集計・分析結果をもとに、有識者や関係団体等で構成する健康づくりを語る会の開催、健康づくり推進協議会での検討、市民政策コメントの実施により、市民の声を反映しながら、計画を策定していく。		
前年度当初予算額	1,314	【事業の実績】 令和6年度 1,731千円（見込） 市民の生活状況や健康意識の現状把握のため、18歳以上の鳥取市民3,000人と小学生2,000人を対象に、健康づくりに関するアンケートを実施。	
本年度要求額	2,016	【事業の内容】 令和7年度は、アンケート調査による集計・分析結果をもとに、有識者や関係団体等で構成する健康づくりを語る会の開催、健康づくり推進協議会での検討、市民政策コメントの実施により、市民の声を反映しながら、計画を策定していく。	
総務部長段階査定額	1,649	【事業の実績】 令和6年度 1,731千円（見込） 市民の生活状況や健康意識の現状把握のため、18歳以上の鳥取市民3,000人と小学生2,000人を対象に、健康づくりに関するアンケートを実施。	
市長段階査定額	1,649	【事業の内容】 令和7年度は、アンケート調査による集計・分析結果をもとに、有識者や関係団体等で構成する健康づくりを語る会の開催、健康づくり推進協議会での検討、市民政策コメントの実施により、市民の声を反映しながら、計画を策定していく。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和6年度 1,731千円（見込） 市民の生活状況や健康意識の現状把握のため、18歳以上の鳥取市民3,000人と小学生2,000人を対象に、健康づくりに関するアンケートを実施。	
財源内訳		【事業の内容】 令和7年度は、アンケート調査による集計・分析結果をもとに、有識者や関係団体等で構成する健康づくりを語る会の開催、健康づくり推進協議会での検討、市民政策コメントの実施により、市民の声を反映しながら、計画を策定していく。	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和6年度 1,731千円（見込） 市民の生活状況や健康意識の現状把握のため、18歳以上の鳥取市民3,000人と小学生2,000人を対象に、健康づくりに関するアンケートを実施。	
地方債	0	【事業の内容】 令和7年度は、アンケート調査による集計・分析結果をもとに、有識者や関係団体等で構成する健康づくりを語る会の開催、健康づくり推進協議会での検討、市民政策コメントの実施により、市民の声を反映しながら、計画を策定していく。	
その他	0	【事業の実績】 令和6年度 1,731千円（見込） 市民の生活状況や健康意識の現状把握のため、18歳以上の鳥取市民3,000人と小学生2,000人を対象に、健康づくりに関するアンケートを実施。	
一般財源	1,649	【事業の内容】 令和7年度は、アンケート調査による集計・分析結果をもとに、有識者や関係団体等で構成する健康づくりを語る会の開催、健康づくり推進協議会での検討、市民政策コメントの実施により、市民の声を反映しながら、計画を策定していく。	
計	1,649	【事業の実績】 令和6年度 1,731千円（見込） 市民の生活状況や健康意識の現状把握のため、18歳以上の鳥取市民3,000人と小学生2,000人を対象に、健康づくりに関するアンケートを実施。	
備考欄			

保014	項目名	ふしめ歯科健診事業費	新規事業
予算書項目	成人歯科保健事業費	ページ	217
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康づくり推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 地域保健第一係 0857-30-8581		
款 衛生費	【11次総の施策体系】 1301		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 歯・口腔の健康の保持・増進を図るため、40、50、60、70歳を対象に健康増進法に基づく歯周病検診を実施している。国は、生涯を通じた歯科健診の機会の確保に向け、令和6年度に対象者を拡充し、新たに20、30歳を対象に追加した。		
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 歯周病の早期発見、早期治療及び適切な指導により、生涯を通じて歯・口腔の健康を保つため、また、全身疾患や生活習慣との関係が指摘されていること等から、定期的に健診を行うことにより、市民の歯科保健に対する意識付けや健康の保持増進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 令和7年度より対象者に20、30歳を追加し、更なる歯科保健の推進を図る。 対象者：20、30、40、50、60、70歳に達する者 委託先：一般社団法人鳥取県東部歯科医師会		
前年度当初予算額	625	【事業の実績】	
本年度要求額	1,394	決算額 受診者数	
総務部長段階査定額	672	令和4年度 571千円 261人	
市長段階査定額	672	令和5年度 620千円 261人	
区分	本年度予算額	令和6年度 603千円 260人（見込）	
財源内訳		【事業の内容】 令和7年度より対象者に20、30歳を追加し、更なる歯科保健の推進を図る。 対象者：20、30、40、50、60、70歳に達する者 委託先：一般社団法人鳥取県東部歯科医師会	
国・県支出金	410	【事業の実績】	
地方債	0	決算額 受診者数	
その他	0	令和4年度 571千円 261人	
一般財源	262	令和5年度 620千円 261人	
計	672	令和6年度 603千円 260人（見込）	
備考欄			

保015	項目名	野良猫不妊・去勢手術費補助金	新規事業
予算書項目	動物愛護事業費	ページ	219
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1302		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 平成24年の動物愛護管理法改正により、駆除目的とした安易な動物の引取りは原則できなくなっている。このため、地域では野良猫の頭数が増加の一途をたどり、住民から様々な苦情や相談が寄せられ、その対応に苦慮している状況となっている。		
目 予防費	【事業の目的及び効果】 動物の愛護及び管理に関する法律及び鳥取県動物愛護管理推進計画に基づき、猫の収容・引取り数の削減などを目標として取り組んでいる。猫による環境悪化の苦情及び負傷により保護した所有者のいない猫の死亡数減少に向け、みだりな繁殖・増加を抑制する対策が必要となっている。 その対策の1つとして、飼い主のいない猫の不妊去勢手術に要した費用を補助している。		
(単位：千円)	【事業の内容】 飼い主のいない猫に対して不妊・去勢手術を行った者に対し、手術費用の10割を助成する。 (上限額：オス10,000円、メス15,000円)		
前年度当初予算額	1,710	【事業の実績】 令和4年度 126頭 令和5年度 117頭 令和6年度 145頭 (見込)	
本年度要求額	1,600	※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税	
総務部長段階査定額	1,600	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,600	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	1,600	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	1,600
計	1,600	繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

保016	項目名	動物愛護管理推進事業費	新規事業
予算書項目	動物愛護事業費	ページ	219
年度	R7	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551		
款 衛生費	【11次総の施策体系】1302 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 「狂犬病予防法」「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「鳥取市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、動物の収容、収容動物の管理・譲渡、適正飼養の普及啓発、動物取扱業者・特定動物飼養者への指導等を行う。		
目 予防費	【事業の目的及び効果】 命を大切に人と動物が共生する社会の実現のため、収容動物の譲渡による終生飼養並びに法令等の遵守による動物の健康及び安全に配慮した取扱いを啓発、指導することで動物が適正な環境のもとで飼養されることを推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	14,135	(1) 動物の収容 狂犬病予防技術員の雇用、放浪犬の捕獲・抑留、負傷動物の保護	
本年度要求額	16,304	(2) 収容動物の管理・譲渡 収容動物の診療・飼養管理、犬管理所の運営、関係機関の連携による譲渡の促進	
総務部長段階査定額	15,251	(3) 普及啓発 相談及び通報等対応、事故対応	
市長段階査定額	15,251	(4) 動物取扱業者・特定動物飼養者への指導 登録・許可事務、立入指導、講習会実施	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	収容	前年度引継ぎ
地方債	0	返還	譲渡
その他	3,808	処分	翌年度引継ぎ
一般財源	11,443	年度 (犬)(猫)	(犬)(猫)
計	15,251	R4 31頭 47頭 0頭 1頭 16頭 0頭 13頭 27頭 1頭 16頭 1頭 5頭	
		R5 25頭 48頭 1頭 5頭 9頭 0頭 12頭 17頭 3頭 34頭 2頭 2頭	
		R6 25頭 50頭 2頭 2頭 9頭 0頭 12頭 33頭 0頭 17頭 6頭 2頭	
		※令和6年度は12月末現在	
備考欄	※その他財源の手数料は、動物取扱業登録等手数料等 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金		

保017	項目名	食品衛生指導事業費	新規事業
------	-----	-----------	------

予算書項目	食品衛生指導事業費	ページ	219
-------	-----------	-----	-----

年度	R7
----	----

所 属 名	健康子ども部鳥取市保健所 生活安全課
-------	-----------------------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

(単位：千円)

前年度当初予算額	12,368
----------	--------

本年度要求額	15,704
--------	--------

総務部長段階査定額	12,351
-----------	--------

市長段階査定額	12,351
---------	--------

区 分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	9,744
一般財源	2,607
計	12,351

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	9,248
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	496
その他	0

備考欄

事業の概要																								
<p>【問合せ先】 食品衛生係 0857-30-8552</p> <p>【1次総の施策体系】 1302 ●実施計画</p> <p>【事業の経過及び背景】 飲食に起因する衛生上の危害を防止し食品の安全を確保するため、毎年度「食品衛生監視指導計画」を策定し、これに基づき効率的かつ効果的な監視指導を実施している。 令和3年6月の法改正では、新たな営業許可及び届出制度、HACCPに沿った衛生管理制度、食品等のリコール情報の報告が義務化がされた。</p> <p>【事業の目的及び効果】 食品等事業者及び消費者に対し食品の衛生的な取り扱いを指導、啓発し、生産から消費までの食の安全を確保することで食中毒等を予防する。</p> <p>【事業の内容】 鳥取県東部圏域食品衛生監視指導計画に沿って、営業許可制度では新たな施設基準に基づく施設の設置及び申請手続きの指導、HACCPに沿った衛生管理の適正な運用の指導、流通食品の検査による安全性検証、食品衛生の普及啓発等により食の安全を確保する。 食中毒や法違反に対しては、迅速に調査し再発防止を図る。</p> <p>【事業の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○食品営業新規許可</td> <td>573件</td> <td>417件</td> <td>415件</td> </tr> <tr> <td>○監視指導実績</td> <td>2,960件</td> <td>2,838件</td> <td>2,469件</td> </tr> <tr> <td>○違反指導</td> <td>11件</td> <td>6件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>○行政処分</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>○食品検査</td> <td>60件</td> <td>118件</td> <td>105件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和6年度は12月末現在</p> <p>※その他財源の手数料は、食品営業許可等手数料及び調理師免許交付等手数料 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金</p>		令和4年度	令和5年度	令和6年度	○食品営業新規許可	573件	417件	415件	○監視指導実績	2,960件	2,838件	2,469件	○違反指導	11件	6件	7件	○行政処分	1件	1件	0件	○食品検査	60件	118件	105件
	令和4年度	令和5年度	令和6年度																					
○食品営業新規許可	573件	417件	415件																					
○監視指導実績	2,960件	2,838件	2,469件																					
○違反指導	11件	6件	7件																					
○行政処分	1件	1件	0件																					
○食品検査	60件	118件	105件																					